

解雇言渡シアリタルハ既報（七月二十日休務二親第一、八三
 號）ノ通りニシテ其後引續キ所轄練馬警察署員ノ斡旋ニヨリ勞
 資数次折衝ノ結果七月二十三日内滿解決セルカ其ノ状況左記ノ
 通りニ有之

記

一 経過

一 七月十五日午後零時四十分乃至一時、間所轄練馬警察署
 長ハ標記會社ニ出張シ本社樓上ニ勞資双方ヲ集メ現下跡向
 ヲ説明シ勞資一体トナリ産業報國ニ努ムヘク警告シ各員ノ
 自重ヲ促セリ

二 七月十八日午後二時三十分ヨリ今三時迄全日本勞働徳同盟
 出版産業労働組合本部員岡田助雄及今板橋支部長一宮久ハ
 所轄練馬警察署ヲ來訪シ今署係員ニ對シ「今社ニ於テ一宮
 久ノ解雇取消レヲ肯セサル場合ハ解雇手當五百円支給方斡

旋セラレ度レト申出アリ係員ハ之レニ對シ斯ル妥當性ヲ欠
 リ要亦ニ對シテハ考慮ノ上善処スヘシト答ヘ更ニ今署長ヨ
 リ去ル十五日社長以下一般従業員ニ對シ時局認識ニ關スル
 警告ト同様趣旨並並義ノ立場ヨリ視ルニ會社側ノ執リタル
 處置ハ妥當ナルモノト認メラル、首ヲ垂示セルニ岡田ハ之
 ヲ諒ヒシ明後二十一日勞資會見ノ斡旋方ヲ懇願シ退去セリ
 三 七月二十一日午後七時乃至九時、間所轄練馬警察署ニ於
 テ今署係員五倉ノ上

組合長	徳永正	報
本部員	岡田助	雄
	上田豊	造
支部長	一宮久	
副支部長	福井多	門

會社側